



# 川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~

例会場:大本山川崎大師平間寺金剛閣

事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail:[daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp)

会長 横山 俊夫  
副会長 山井 林 俊次  
幹事 小野 清久  
SAA 清水 宏明

第1917回 (本年度 第5回) 例会 平成24年8月1日 一晴れ 猛暑一

- 司会 清水 宏明 SAA
- 点鐘 横山 俊夫 会長
- 斉唱 「国歌斉唱」 「奉仕の理想」  
増田 昌美 直前会長

●卓話者のご紹介 横山 俊夫 会長

川崎大師ロータリークラブ 元米山奨学生  
ジギャン・クルマ・タパ様 (ネパール出身)

来訪ロータリアンのご紹介 飯塚 元明 親睦委員長

神奈川ロータリークラブ 樋口 明様  
川崎ロータリークラブ 八木 晋郎様  
川崎ロータリークラブ 山本 浩文様

会員入会祝い 飯塚 元明 親睦委員長

遠藤会員 昭和62年8月 5日  
小泉会員 平成 5年8月25日  
須藤会員 平成11年8月18日  
渡辺会員 平成13年8月29日

奥様の誕生祝い

武者会員 奥様 陽 子様  
須山会員 奥様 由美子様

会員の誕生祝

船山会員  
鈴木会員  
野沢会員  
増田会員  
船木会員



会長報告 横山 俊夫 会長

- ・第30回 8クラブ親睦ゴルフ大会の案内
- ・8/21(火)クラブ米山奨学委員長会議開催  
出席対象者出席をお願いします。
- ・8/27(月)クラブ新世代方針委員長会議開催  
出席対象者出席をお願いします。

【回覧】

- ①第30回 8クラブ親睦ゴルフ大会の案内  
10/8(月) 体育の日  
ザ・カントリークラブ・ジャパン(千葉県)

幹事報告 矢野 清久 幹事

- ①8/8(水) 午後6時パスト会長会(於: 恵の本) パスト会長の皆様と現理事の皆様の出席をお願いします。
- ②会員名簿校正名簿回覧チェックのお願い 間違いについては捨て消すようお願いします。
- ③船木職業奉仕理事が怪我のため竹内副委員長に代行を務めていただく
- ④第2回理事会開催 本日例会終了後13時45分より 理事に皆様出席を頂きますようお願いいたします。
- ⑤塩原法要に出席の皆様お疲れ様でした。

出席報告 石渡 勝朗 出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1917回	56	48	33	15	68.75%
1915回	56	46	27	19	58.69%
前々回の修正	メイクアップ 7名		修正出席率		73.91%

メイクアップ:

野沢会員、林会員、中村会員、細谷会員、竹内会員、小泉(知)会員、渡辺会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1916回	56	49	35	14	71.42%
1914回	56	48	30	18	62.50%
前々回の修正	メイクアップ 3名		修正出席率		68.75%

メイクアップ:

野沢会員、竹中会員、竹田会員

## スマイルレポート (ニコニコボックス)

小林 勇次副会長

## 神奈川RC 樋口 明様 (地区新世代奉仕委員長)

本日はお世話になります。地区新世代では、RYLAの須山委員長、竹内委員、ローターアクトの増田委員、飯塚委員、インターアクトの武者委員と実に多くの方々にお世話になっております。

## 川崎RC 八木 晋郎様

本日お世話になります。

## 川崎RC 山本 浩文様

今年度も又お世話になります。矢野さん、幹事頑張ってください。

## 川崎大師RC

## 船山 昭三会員

誕生日と声をかけられましたので有難うございます。

## 野沢 隆幸会員

暑中お見舞い申し上げます。誕生日を迎え更に健康に留意したいと思います。

## 武者 恵吾会員

樋口さん、ようこそ。例会を楽しんでください。

## 水口 衛会員

宮山さん、武者さん、石川さん、横山さん、昨日はありがとうございました。

## 鈴木 昇二会員

タパ・ジギャンさん。ようこそおいで下さいました。今日は卓話、宜しくお祈りします。

## 竹田 正和会員

当社ほんじつより新年度に入りました。新年度も実りある1年であることをお大師様に祈って参りましたので…。

## 嶋崎 嘉夫会員

船山さん、先日はご馳走様でした。

## 横山 俊夫会長

暑い日が続きますのでお体にはご自愛ください。

## 小林 勇次副会長

横山年度も1ヶ月が過ぎました。あと11か月頑張ります。タパさん卓話よろしくお祈りします。

## 本日のニコニコのテーマ

タパ・ジギャン様、  
本日は卓話宜しくお祈りいたします。

横山 俊夫会長	増田 昌美会員	矢野 清久会員
牛山 裕子会員	秦 琢二会員	竹内 祥晴会員
中村 眞治会員	谷澤 幹男会員	飯塚 元明会員
竹中 裕彦会員	村石 庄作会員	岩井 茂次会員
	合計	14,000円

## 委員会報告

地区情報委員会 渡辺 富士夫委員長

7/22 (日) 地区ロータリー情報委員会がありました。(於:メモリアルプラザソシア) 各地区のガバナー、補佐出席が出席され、そこでアンケート集計報告がありました。

Q: 新入会員の教育をどなたがされているか?

A: どなたが会長・幹事・ロータリー情報委員長が多数

Q: 新入会員に対して重点的に説明するもの

A: 例会の出席の重要性、クラブライフの楽しみ方、5大方針に関する理解

・クラブ内ではわかりやすいロータリーの冊子新入会員に配布。理解を深めて頂きよりロータリーライフを楽しんでください。

・米山奨学生の喬 禹翔(きょう・うきょう)さんの故郷訪問(中国・長州)ツアーのご案内  
出発8月19日13時25分成田発(費用13万弱)現地滞在については4~5万詳細についてはパンフレット参照ください。

## 卓話者のご紹介

プログラム委員会 鈴木 昇二委員長

本年度第2回の卓話です。

ジギャン・クルマ・タパ様です。

年齢は33歳、ネパール出身です。

2000年 ネパール国立トリブワン大学経営学部卒業後、日本留学。

2009年 横浜国立大学大学院・

国際開発専攻博士課程単位取得。

2008年~2009年 米山奨学生 世話クラブ

(横浜たまロータリークラブ)

現在、公益財団法人かながわ国際交流財団勤務、ネパール政府公式通訳者、NHK国際ニュースにおけるネパール語の翻訳、千葉県での人権教育の研修講師、東洋英和女学院大学、埼玉大学、日本大学、国学院大学等において、講師を務め多くの人々に国際理解を教える。

現在、毎週金曜日の21時からTOKYO MX TVゴールデンアワー番組にコメンテーターとして生出演のほか、文化放送ラジオにもレギュラー出演してネパールとの交流の懸け橋の一翼を担っている。



## 卓 話

## ジギャン・クルマ・タパ様

ナマステ。皆さんこんにちは。たくさんの方の肩書があつていったい何をしている人だろうと思われた方もいると思いますが、日本語を勉強した時に多芸は無芸という言葉があつたのでどこか一つに絞ってちゃんとやったほうがよかつたのかなと思うところもあります。

日本語は下手な日本人より上手だねと言われます。こちらは漢字のない国なので絵のような文字を真似して勉強し苦労したのいい思い出となっています。

最近大学生に話をする機会が多いのですが、「ネパールはどこにありますか」と聞くとあまり知らない人が多いです。私の場合はネパールで日本語を勉強してから来ましたので、ネパールにいるとき日本のことを勉強しました。日本からすると数ある多くの国の中のネパールとなるのでしょうか、私には日本は特別な国でした。

日本語の上達は「好きこそものの上手なれ」という言葉がありますが、日本が好きになれたから日本語が上手になれたのかなと思います。

今神奈川県公益財団の仕事をしていますと起案文書を作ってまわりますが、結構赤が入って上手ではないのですが、普段会話すると日本語が上手だねと言われる仲間に入ります。

2008年から2009年横浜多摩ロータリーの方でお世話になりました。それまでは一留学生としてアルバイトをしながらの勉強でした。特に修士と博士課程というのは忙しい時期ですので、そういう忙しい時期に米山奨学金を頂けたことで勉強ができたと思っております。この場をお借りして皆さんにお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。

今多くの後輩たちもでき、先ほど話にも出た喬 禹翔(きょう・うきょう)さんも横浜国立大学の後輩です。最近会ったばかりですが米山奨学金を頂いたということで後輩同志、先輩・後輩・米山学友の交流も非常に盛んになっています。ネパールという枠を超えて、日本に来たいろいろな国の人たちが一緒に勉強していつかは国際舞台上で活躍するときは、こうご縁というものが大事になってくると思います。

特に中国・インドなどこれから進んでいく国が多いので、ネパールにいたらなかなか会う機会のない仲間と会えたのも米山奨学金のお蔭だと思っています。

ネパールの学生は以前こちらでもお世話になったことがあると先ほど鈴木さんから伺ったので、皆さんネパールのことはご存知の方もいらっしゃると思います。

多民族の国ですので横浜国立大学の後輩の中に同じカトマンズの子がいましたが、彼の母国語と私の母国語が全く別なので話す時は英語とか日本語です。公用語のネパール語だとあまり難しい言葉はわからない。日本語のように関西弁とか地域ではなく民族なので、同じ地域に住んでいても違う民族だったに通じないほど多民族です。

私が6歳の時に、青年海外協力隊という日本人の若いボランティアの方がネパールに来ていました。家にホームステイをしていました。我が家はそんなに貧しい家ではなかったのですが、トイレもありましたし、その当時は中くらいの家庭だったのですが日本人がホームステイしても大丈夫という判断だったようです。

その日本時の方は石塚さんと言う人で当時23歳でした。私はネパールと言う貧しい国なので石塚さんのように海外で勉強したりすることは無理だろうと思っていました。日本というよりも石塚さんのようになりたいと印象に残っています。

中学校の教科書に日本のことが書いてあります。日本人は勤勉で集団的意識が強く、相手を敬う心があって戦争で大変だったが皆で力を合わせて復興した国、アジアやアフリカの貧しい国のことも協力している。ODAも出してその国もよくなってほしいと相手のことを考える国で、日本は模範となる国家です。ということネパールの教科書に書いてあります。日本の若い人たちに聞かせてあげたいのですが、多分そこまで若い人たちは意識していないと思います。

多くの途上国と言われる国にとっては、今でも日本は立派なお手本になる、特に制度や仕組みの設計でいうと

日本のことは大いに参考になるだろうと思って日本語を勉強していつか留学したいと思っていました。2000年にネパールの大学も終わり日本にやってきました。

一年間ネパールで日本語を勉強したので、日本に来て何でも分かっているつもりでしたが、ネパールではトイレのことは便所とか古い日本語を教わっていました。18歳くらいが日本人の同級生ですので「こんにちは、初めましてネパールから来ましたタパ・ジギャン・クルマです。どうぞよろしくお願ひします。」というまわりが「えー」みたいな感じで「そんなかしこまったこと言うよと友だちいなくなるよ」と言われ、もっとスラング名言を教えてもらいました。

その後、ネパール政府の公式の通訳を勤めることになりましたので、出来るだけ標準語を使い、言葉は人一倍気をつけてスラングは使わないように心がけています。

日本に来て驚いたことがたくさんあります。例えば、大学に行くときは「8時59分の電車に乗らないと間に合わない」と言われたのですが、なぜ8時59分なのかわかりませんでした。9時で良いのではという感覚だったのです。ネパールは時間にきっちりしていませんので、1分1秒を争う国ではなくのんびりしています。だから発展しないのかもしれませんが…。バスはいっぱい乗らないと採算割れしてしまうので出発しない。だから皆さん待つのは苦ではないです。待つのがすごく上手です。隣の人とかに話しかけて待っています。日本ですとあまり声をかけてはいけませんね。「こんにちは。なかなかバスこないですね」とか言ったら驚かれますよね。ネパールと文化が大きく違うので少し苦労しました。

同じマンションの方にエレベーターで「こんにちは」と挨拶したら子どもがびっくりしていました。「お名前なんていうの」と聞いたら「名前は教えられません」と言われました。石塚さんが我が家に来たら村中の人が石塚さんに名前を教えただけなどと思いました。

私達子どもにとって石塚さんという外国人が大きな夢を与えてくれました。外国は知らないけれども、自分たちと違う肌の色をしているとか、話す言葉が違うというよりも、歌を教えてもらったり、写真を撮ってもらったりといった事で、日本という国に夢を持った若者の一人が私です。

そんな私は、ネパールの事を聞かれたら教えてあげたい。ネパールはヒマラヤがあつて、飛行機は自分たちが住んでいる所より低いところを跳ぶんですよとか、山の上に住んでいる子どもたちは飛行機を下に見るんだよね等々、日本の子どもに教えたいのですが、「名前が教えられません」というのは悲しいです。

発展して豊かになるのは良いのですが、そこまで人と人の距離が遠いとか、不審に思わなくても良いのではと思います。大学とか決まった人間関係の中では好意的に受け入れてもらえましたし、幸いに私は言葉が出来るので友達が大勢いるほうだと思います。日本で留学生活はとても楽しいです。皆さんと話が出来るから日本語が磨けたのかと思います。ネパールに居るときからおしゃべりな子だったと言われていましたので、同じ事を日本語でしようとしただけなのかもしれません。

大学で授業をやっていますと一寸難しいことを今の大学生でも解らないのです。船頭多くして船山に昇る」とか言っていると、それは日本語ですか?と聞かれます。皆がそういう訳ではないのですが、大学で日本語のことを勉強してしまえば「タパ先生日本語オタクですね」で片付けようと思われ、日本の文化には四季があります。人の気持ち、感情、美しいだけでなく色々な表現があります。英語ですと「もちろん」「必ず」「きっと」は全部「オフコース」で通じます。そういう日本語の表現の微妙な違いを勉強したつもりでもなかなかうまくいかないときがあります。若い人は「スゲエ」「おもしろえ」とか、時代によって変化するのもかもしれませんが、外国人でも気になっていきます。

私が学生の時に一番苦労したのはアパートを探すときです。不動産屋さんに行くとか「外国人はちょっと」とか大学の紹介でもなかなか難しいです。不動産さんは良いのですが、大家さんが「変な留学生がいてトラブルに遭った」とか「一人で借りたのに何人も住んでいた」と

か「あなたが悪くはないのですが、ごめんなさい」とか、すごく丁寧なのですが、断られました。不動産屋さん。大家さんの気持ちもわかる様になってからはあまり自分がかわいそうとか、外国人だから差別されたとか思わなくなったのですが、それまではそういう事はわからなかったの、「なんなんだこの国は」と思ったこともあり

ました。長く住んでいても日本人の家というのは、わからないです。私はよく同級生を家に呼んでカレーやネパール料理を振る舞ったりするのですが、ある時友人に「タパの家に行ってもいいけどうちには呼べないよ」と言われました。うちに呼べない理由は何だろう？と聞いたら、「狭い」「親と一緒に住んでいるから」とか色々な理由がある様ですが、その辺は文化の違いですから「だから悪い」とかは思わないのですが、ネパールではそういう事は全くないのです。日本みたいにペットボトルがどこでも買えないので、「こんにちは。お水をください」といえば誰でも出してくれます。知らない人でもバスで隣り合わせになれば挨拶したり、新聞だったら少しあげて一緒に読んだり「降りますから返して」と言えば返したり。物々交換ではないのですが、多分お金で生活してないので、人様にお世話にならないと生きていけない。その点日本は発展してお金さえあれば、自動販売機・電車のチケット等、だけともしゃべらないで一日が過ぎてしまいます。留学中の休みの日、一人で勉強しているのも飽きてしまうというところが日本の良くないところかなと思います。だから日本で何かしたいと思いました。

私に出来る事はないかと考えました。自分の住む地域の小学校に手紙を書きました。石塚さんという日本人に出会って日本に来ました。地域の子どもに声をかけてもお母さんが子どもの手を引っ張るんですね。「しゃべらないで」みたいな…。こんな顔しています。どうみても外国人ですから、お母さんの気持ちもわかるのですが。地域の小学校でネパールのお話をする機会を得て、交流が広がりました。

おかげさまで奨学金もありましたので、アルバイトをする必要がなくなったので、勉強してネパールのことを子どもたちに教えたり、ネパールから要人が来たときは政府の公式な通訳をしたりと、日本語という自分が取得した言語と日本で培った信用みたいなものを得ました。奨学金をもらうということはそれだけで留学生には箔がつかます。生活はもちろん楽になりますが、奨学金をもらえるほどちゃんと勉強したんだということになります。皆さんご存じか知りませんが、米山奨学金はけっこう競争倍率が高いです。国立大学では何百人いるうち推薦されるのはほんの一握りです。奨学金を貰えたという事ですらにチャンスが広がります。

私は公式通訳はこちらから買って出ました。学生の頃ネパールから要人が来て、話を聞きに行くことがありました。その時は日本人もネパール人も英語で話しますから結構適当なんです。フィーリングはわかるのですが、そういうので外交やっているといいのかなという心配も正直ありました。自分に余裕があったという事もあるのですが、「私がいたらもう少しうまく訳せる」といった何か自信がありました。その時に大使に話をしたところ、お金は出せないけれどもという事で買ったのでそれなりの準備をして1回・2回とのぞみました。日本外務省では公式通訳は私しかいません。

幸い私が現在勤めています神奈川県国際交流交流財団では、日本とネパールの橋渡しをしているのだからという事で、オフィスの上司や同僚に協力してもらって通訳のボランティアをしています。

政治・経済は大学で学んでいましたし、私は行政学が専門です。ネパールの法制度の改正なども携わらせて頂きました。先日そういう分野とは全く違う内容の会談が会ったのですが、何日も前から資料を読み込んで、階級の違いから誤解が生まれますので、どうやっていこうか考えました。私、本日帽子をかぶっています。先ほどの国歌斉唱でも脱がなかったのですが、ネパールでは正式な時に帽子をかぶることが相手に対してリスペクト、敬意を表します。そういう事も通訳する前に文書を出した

りします。それが両方の文化をわかっている私の役割だろうと思っています。

私がロータリーの皆さんと出会った事が自分の人生に活きているな、大きく変わったなと思っています。ボランティアの精神、ロータリーでは奉仕の精神が、皆さんと一緒にご飯を食べたり、話したりすることで、勉強になりました。

一留学生ですと優秀な大学にいればちょっと頭でっかちになりがちなところもありますし、博士、教授ですとその世界は良く知っているが横のつながりはあまりない。留学生は留学生なりの色々補った方がいい点があります。僕は横浜多摩RCで家族ぐるみのお付き合いをさせていただきました。そんな中で、仕事は仕事として、それとは別に社会に貢献をするという事を知りました。

色々な国、文化がありますが、私は将来ネパールの大使になりたいと思っています。駐日ネパール大使としていつか日本に来たいと思っています。私にとってロータリーとお付き合いして奉仕の活動に関わったことは私にとって大きな収穫でもあり、やりがいもありました。

米山で震災の時に私と一緒にネパールから来た多くの米山の卒業生が何人も居ますので、東京の避難所に呼んだり、国にかえしたり、大使館は麻痺していたので、そういう時は言葉の出来る我々が活躍する、みんなで力を合わせてという事で、RCではいい機会をいただいたなと思います。

在日のネパール人は今2万人いますので、震災の際にはどうしたら良いかというプレゼンテーションをしています。

是非機会がありましたら、皆さんもネパールに来て下さい。ネパールはヒマラヤ山脈もありますし、カトマンズ盆地から真っ青なヒマラヤをバックに白いエベレストが見られます。経済的には豊かではありませんが、物価は安い、政情は不安定ですが観光には行くぶんには問題ありません。

私がかきつけで色々なロータリークラブがネパールに行ったときに子どもたちに文房具を持って行ってあげたりしています。識字率50%の国で海外で勉強できたという役割はすごく大きいと思いますので、これからも米山奨学金を宜しくお願い致します。そして、もしネパールに行く機会がありましたら、子どもたちに本でも鉛筆でも何でも良いので、提供頂ければ有り難いと思います。

私は、あと1・2年日本にいますので、機会がありましたら、呼んで下さい。どうかこれからも宜しく願います。ありがとうございました。

#### 卓話御礼

横山 俊夫会長

タパさん、有難うございました。我々の姉妹クラブの国旗もいくつかあるんですけど、私共のクラブに三角のネパールの国旗もあるんです。

我々も今までネパールと色々な交流をしようというところまで行ってました。

先程のお話を聞いて6歳の時に海外青年協力隊の石塚さんとの出会いがおそらく今のタパさんをお救いになったのかなあというふうに思います。

人の出会いは大事だと思っています。我々も水曜日に皆さんとお会いできる事をとても大事にしていきたいと思っています。これからもタパさんのご活躍をお祈り致します。

本日はありがとうございました。

日時：平成24年8月15日(水)は休会です。

日時：平成24年8月22日(水)は通常例会です。

卓話 齋藤 文夫様(川崎ロータリークラブ)

「浮世絵について」

秦 琢二/竹内 祥晴/小泉 知寛

